

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

## 問題

# 就業中に大規模地震が発生。 従業員として、どのように行動しますか？

※ただし、勤務場所は安全が確認された場所と仮定します。

- ① すぐに、帰宅する
- ② まずは、勤務場所にとどまる



事業所防災リーダーキャラクター  
リーダーダックさん

【従業員の皆さんへ】安全が確認された場所にいる場合、まずは、その場所にとどまりましょう。家族や家を心配して思い思いに帰宅すると、二次災害の危険が伴います。また、道路に人があふれ、救急車や消防車がスムーズに目的地へたどり着けず、救助・救命活動の妨げになります。人命救助のデッドラインは72時間といわれています。災害発生から72時間は無理に移動せず、安全な場所にとどまるようご協力をお願いします。

【リーダーの皆さんへ】下記の手順で行動・指示しましょう。

- ① 災害情報の収集 ② 自分のいる場所の安全確認 ③ 防災用備蓄(※)の確認 ④ 一時滞在の準備

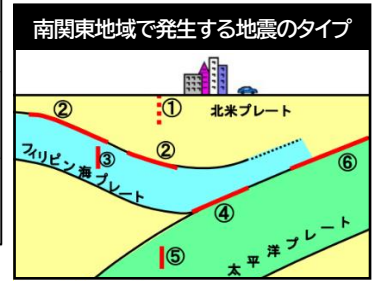
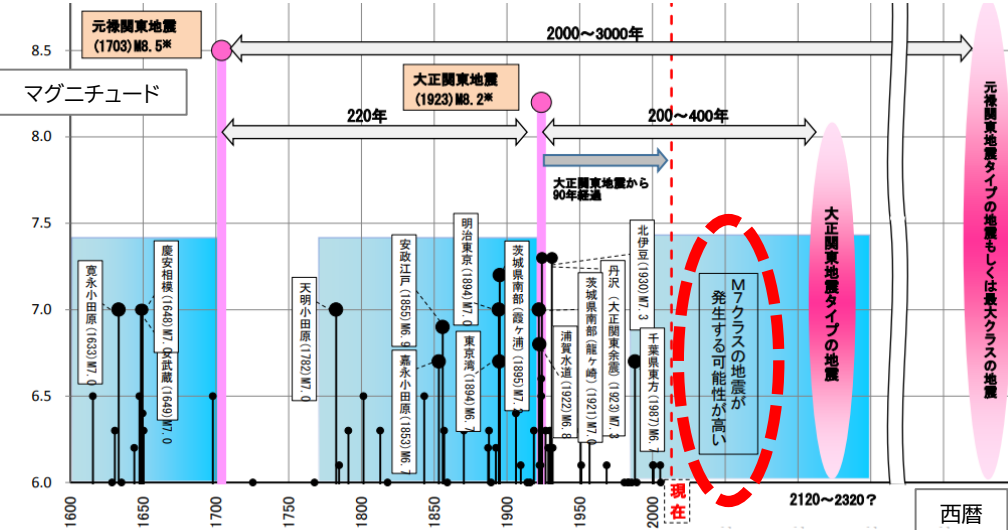
※防災用備蓄：飲料水、食料、毛布、トイレ、携帯電話充電用蓄電池など

正解: ②まずは、勤務場所にとどまる

## 防 首都直下地震はいつ来るの？

- ・南関東では、200~400年間でM8クラスの地震が発生
- ・M8クラスの地震の前にM7クラスの地震が複数発生

今後30年以内にM7クラスの地震が、  
約70%の確率で発生すると予想されています。



出典: 内閣府 『首都直下地震の被害想定 対策のポイント』

## 防 東日本大震災のとき、都内は大混乱

2011年3月11日の実際の写真です。都内では、一斉に皆が帰宅しようとして、歩行者も車も道にあふれました。一斉にそれぞれが帰宅しようとするとうなるか、一度考えてみましょう。



出典: 東京都 『帰宅困難者対策ハンドブック』

72時間は  
安全な場所で  
待機しよう

もっと詳しく知りたい方は、動画をCHECK! →  
『STAY for SAFETY 『帰さない』選択が、みんなを守る(民間事業者のみなさん向け詳細版)』

